

## 都心地区の内発的まち育て

延藤 安弘 | ENDOH YASUHIRO

NPOまちの縁側育くみ隊は、2年前の5月から名古屋市の都心地区の錦二丁目に愛知産業大学と協働のもと「まちの会所」を開き、まちづくり交流拠点の運営とマスタープランの策定をすすめてきています。

そこは、16街区、16haのひろがりの地区に夜間人口約400人、繊維問屋が構造的変化を余儀なくされているところに、世界大不況の大嵐・・・といった否定的傾向をいくつもかかえながらも、400年の歴史ある都心地区に、多様なしごと・住む・楽しさ等が混ざりあうにぎわいのある安心安全なまちの育みをめざすという前進的傾向が強まってきています。

今、マスタープラン第2案をまとめつつあり、3年目の今年、地区の関係者間のホンネトークを重ねつつ、まちと経済の元気をよびさます総合計画づくりへの共感を呼ぶ合意形成の山場をむかえようとしています。プランづくりも話し合いの場づくりも、難題が山積していて、果たしてあと1年でまちの生き方の基本戦略と当面の具

体的アクションの展開の方針をまとめられるか不安がいっぱいです。

このようななか、錦二丁目のキーパーソンたちは次のように発言しています。

- ・「問屋の仕事でも何もしなければ売り上げは10%落ちる。まちも何でも新しいことにトライしていかなければならない。」
- ・「平たいことばでしゃべりあえると、本音とボロの両方をだしつつ、いっしょにいこうの方向感がわかちあえる」
- ・「反対意見は賛成に変わる可能性がある」
- ・「むずかしいこと言うよりまずやればいい。ゴミ拾いも花を飾るのも、やったら街を好きになるでしょ」
- ・「私が生まれかわったら、このマスタープランの実現するまちには是非住みたい」

ENGAWA NEWS 2010年4月号  
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊  
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18  
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内  
TEL&FAX：052-936-1717  
E-mail：info@engawa.ne.jp

等々のつづやきの中に、このまちが必ずやまちづくりの新しい光源を見つけ、生の感覚と存在の感情にあふれたみずみずしいまちの育みのソフトとハードを実現していくことへの予感をうっすらと感じさせてくれます。全く予断を許しませんが、育くみ隊の精魂をこめて、このまちの再生への道すじを地域の方々とともに見出していきたいと念じています。



■今月の理事  
延藤 安弘（エンドウ ヤスヒロ）  
まちの縁側育くみ隊の代表理事であり、愛知産業大学大学院教授。全国各地へまち育ての語り部としてまわり、方や名古屋市錦二丁目に根ざし、精力的に活動を行う。

まちの会所  
**MACHI no KAISHO**



**まちの会所**  
 愛知県名古屋市中区錦2-6-13  
 長者町廻びすビルPart3・2階  
**アクセス**  
 名古屋地下鉄桜通線丸の内駅下車5番出口  
 より徒歩3分  
**問い合わせ先**  
 担当：名畑  
 TEL&FAX：052-201-9878  
 E-Mail：info@engawa.ne.jp  
 錦二丁目まちづくりHP：  
<http://www.kin2.bpl.jp/index.html>

■**変わりゆく**  
 この'まち'のこれからは？

まちの会所 名畑 恵  
 錦二丁目まちの会所の来訪者は様々。まちの人、学生、アーティスト、研究者etc...まちの人の中には休むことなく毎日まちづくりへの思いをハガキに託し代表の延藤宛に送り・・・そして毎日来訪、なんて人もいます。「(まちづくりへの) 思いを毎日貯金しとるんだから一、簡単じゃないぜー」がお決まりの文句。はじめこのまちに入った時、このまちならではの商売人コトバを耳障りに感じた。前述の思いを「貯金」にたとえるところなんか、その最たるもので、他には「抜き差しならぬ関係だからっ」と一度取引したら絶対に抱き合い心中の覚悟で集金する、といった内容と並列にまちづくりにおける人と人との関係を語ったり・・・。はじめはまちの人が口を開く前に「血なまぐさい話ですか？」と牽制していた私も、最近はこの商売人コトバに愛着をもち、先入観を改めようと思っている。きっかけは様々で毎日聞いて

いるから、というもあるし、この町の中心軸の「長者町通り」を文字って「わらしべ長者プロジェクト」といって小売店のコミュニティをつなぐしかけを考える経営者が現れたり・・・「ワラビモ長者プロジェクト」といって「ワラビモチとまちの人の話を交換して長者になろう」という素敵なアーティストとの出会いもあった。極めつけには、「invest」というコトバ。これはまちの人主催の「第2回まちづくり意見交換会」で、多様な方向性が示されたところで、最後に延藤氏が結んだコトバである。「invest」の語源は装う、ヴェスト(着る)からきている。繊維のまち・商売人のこのまちにピッタリのコトバに出会い感動をみんなでわかちあった。「変わりゆくこのまち'のこれからは？」をテーマに行われ、「投資したくなるまち、【invest】を目指そう！」で結んだ第2回意見交換会の様子は次回ご報告します！(金目の投資だけでなく、「投資＝まちを装う」の内容様々は次回！どうぞ期待です。)

OPEN: 月・水・金13:00～17:00  
 記入無  
 錦二丁目関連  
 まちの縁側育くみ隊  
 延藤安弘個人

**4月**

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
					E[17:00]ASU延藤・小杉研ゼミ	N[10:00]ゴジカラ村ミクスチャハウスワークショップ
5	6	7	8	9	10	11
N[19]NPO理事会	E淑徳大学講義&ゼミ	[13:30]錦二まちづくり連絡協議会総会			E[17:00]ASU延藤・小杉研ゼミ	
12	13	14	15	16	17	18
	E淑徳大学講義&ゼミ [18:00]錦二MP企画会議	[18:00]錦二まち協理事会			E[10:00]松本大学ファシリテーター養成講座	
19	20	21	22	23	24	25
	E淑徳大学講義&ゼミ		E[14:00]岐阜市井ノ口まち育て幻燈会			
26	27	28	29	30		



## 人間くさい名探偵

久しぶりに友人と映画を観に行ってきた。ミステリー&アクション映画の話題作『シャーロックホームズ』シャーロックホームズと言えば、イギリスの作家、アーサー・コナン・ドイルが生み出した名探偵で、今まで何度となく映像化されたり、ほかの作家が自分の作品のなかに登場させたりしている。

これまでの一般的なホームズ像と言えば、紳士的で冷静沈着。あらゆる知識に通じていて、鋭い観察力と深い洞察力と論理から導かれる推理は的確に犯人を指摘する。皮肉屋で時々ワトソンを小馬鹿にしたような物言いをしたりする。フェーシングの達人でもある。つまり一般的なイメージは、超人的な推理マシンのような存在として知られているのだ。

しかし、原作では探偵としての素質や能力は並はずれているものの、奇矯な行動が多く、友人であり、助手でもあるワトソンがいなかったら単なる変人奇人の類いと変わりが無い。今回の映画でもそれを踏襲している。自堕落な生活ぶり、一度引きこもると、何日も部屋から出ずに食事も摂らない。しかし、一旦事件調査の依頼が来ると、人が違うかのように俊敏な捜査を開始する。事件を追いかけているホームズの顔には生気が漲っているのだ。また、友人のワトソンが結婚するため一緒に部屋に住めなくなることを憂いて婚約者の女性に難癖をつけて別れさせようとしたり、自分の愛する女性が犯罪者と知りながらも救いの手を差し伸べたり、ワトソンに愛想をつかさされたり…。とにかくこんなに人間くさいシャーロックホームズは観たことがない。

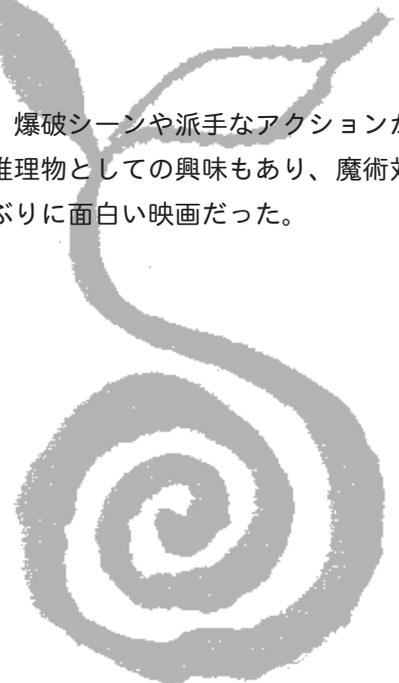
いままでのホームズ物とは異なり、爆破シーンや派手なアクションが繰り広げられるのも楽しい。もちろん推理物としての興味もあり、魔術対科学という側面もある。いやあ、久しぶりに面白い映画だった。



大久保康雄

(オオクボヤスオ)

まちの縁側育くみ隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつ  
チェアウォーカー



## 一障がい・健常、あなたのその常識はあたりまえ？一

～多様な個性を認めよう！ 豊かな社会をめざして～

今回のジネンカフェは年に一度の拡大バージョン。立場の異なる5人の方々によるパネルトーク、そのパネリストを囲んでのテーブルトークと二部構成に分けて行いました。

パネルトークに先駆け、美味しく楽しいランチタイムを取りました。くれよんBOXさんのメニューは昨年も好評でしたが、パン系だけではなくタコライスが加わった今年は一層バラエティに富み、昨年に引き続いてふんわりとやさしい心を届けて下さったふるもとゆうこさんの歌声と共にジネンカフェに華を添えて下さいました。

締切り直前まで伸び悩んでいた参加申し込みも、幕を開けてみれば77名もの参加者が会場を埋めてくれ、大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。参加して下さいましたみなさま、どうもありがとうございました！

### ジネンカフェvol.036

日時：2010年2月21日(日)  
11:30～16:30

テーマ：一障がい・健常、あなたの  
その常識はあたりまえ？一  
～多様な個性を認めよう！  
豊かな社会をめざして～

場所：名古屋市総合社会福祉会館  
主催：NPO法人まちの縁側育くみ隊  
・かたひらかたろう

共催：くれよんBOX

後援：愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会

※1 Mihoさんは当日体調を崩されて参加できなくなってしまったため、友人の古谷萌子さんが参加された。

### Mihoさん【まちの縁側育くみ隊の会員】※1

大学を卒業後、東京で就職したが生活環境の変化から必要以上に仕事にのめり込み、Mihoさんは自分の論理が通らない社会に対して不満を感じていたが働くからには、感じているその不満な部分を解決しなければいけないと自分を追い込んで行った。

その後Mihoさんは病気になる。うつ病。

〈うつ病〉は特別な人になる病気ではない。健康な人でも何か失敗した時には気分が落ち込むこともある。しかし、気持ちをコントロールすることが不可能になり、元気がある時とない時の波が激しく長引くのである。

職場にも行けなくなり、食べ物も食べられなくなった。しかし、気持ちは“戦闘モード”に入ってしまったので何も出来ない苛立ちを身近な人にぶつけ、半年間は起き上がることも出来ない時期が続いた。

そんな中で心に変化が現れてきた。自分が何も出来なくても周囲に受け入れられていることに気づいたのである。社会に感じていた反発や抵抗を少しずつ感じなくなり、意欲的に考えられるようになった。

現在も闘病中であるが、幼い頃からの夢であったバレエを習い始めた。今後も〈うつ〉との闘い続くが、持ち前のパワーできっと病気を手なづけてしまいうに違いない。

### 賢ママさん【日本自閉症協会愛知県支部会員】

12歳の時に本を読み、自分が自閉症だと確信するようになり、2007年にアスペルガー症候群・注意欠陥障がいの診断を受けた。

注意欠陥障がいとは、すべきこと、言われたことをすぐに忘れてしまう障がいである。大人だから暮らしていけるが同じ特徴がある賢ママさんの子どもは忘れ物をしては先生に叱られて帰ってくる。その度に「そんなことは気にしなくてもいい」と言っている。

また、賢ママさんには触覚過敏もあり化粧ができない。子どもたちが「どうしてうちのお母さんはお化粧しないの？」と訊くことがあるが、「僕たちがなんともないことがお母さんは苦手なんだね」と理解してくれる。そんなふうに発達障がいをもつ親子3人お互いを補いながら暮らしている。

上の子どもには嗅覚過敏もあり、掃除や洗濯をしていると部屋のドアを閉め切って「これ以上入ってくるな」といい、集団生活になかなか溶け込むことができて大学も通信制の学校を受験する。そんなふうに自分の苦手な部分はできるだけ避けて通り、いずれ社会に出る時に自分の状況と向き合っ、覚悟ができた時に社会に出られればいいなと思っている。人と違っていることがあってもひとつの個性として、何かあれば力をためてまた社会に出てゆければよいなと思っている。



竹内由美子さん【じゃんぐるじむ代表】

次男のがくとくんが1歳になる前から「何かが違う」と感じ始めて、発達が遅れているのではないかと気づかれないように「普通」を求めた。しかし、「普通」という価値観を作ったのも社会。違いを楽しみ、認め、ひとりひとり大切な存在なんだと変わってゆく。

10歳になったがくとくんから発せられる言葉は比類なきやさしさにあふれている。すべての生きもの、動物や草花に至るまで愛情を注ぎ、登下校時に草を千切る子がいると体を張ってまで本気で止めるという。「やめて！草が痛いと言うよ」と…。がくとくんの夢は、すべての生きものが自分らしく存在することだそうだ。

そんながくとくんからの言葉と出会う度、竹内さんは自分にこんなふうを感じる力があるのかなと思う。がくとくんに出会わなければ知らなかった感情たち…。がくとくんの個性ややさしい感性に触れる度、あるもの全てが輝いて感謝する対象として捉えられるようになったという。

がくとくんの存在は、兄のひろとくんにも影響を与えている。友人の個性の違いを自然に受け入れている。プロフィールにも〈特別支援学級・あすなろ学級がくとくの兄〉と書いてあるという。ひろとくんにとっても、がくとくんの兄であることが一番の自慢なのかも知れない。



水野尚美さん【共育ネットはんだ代表】

10年間ほど子どもたちに「エーブルBBC」というバスケットチームの指導を続けている。チームには障がい児、発達障がい児、健常児もいる。バスケットというスポーツを通して、自分のことをうまく伝えられない自閉症の子が、聴覚障がいの子の真似をして手話をやりはじめ、そのうちに「「頑張れ」って手話でどうやればいいの？」と尋ねてくるようになった。それを言われたときに、子どもたちは子どもたちの中で育ってゆくんだと痛感した。お互いのことを言葉ではなく感覚として解ろう、解りたいと思うのである。

最初は練習だけであったが、もう少し長い時間を共有した方がよいと思って合宿をするようになった。発達障がいの子どもたちを親御さんから離すことに関して専門家ではないので不安はあった。しかし、「親としてもここを越えないといけないと思う」と言われて思いの深さを感じた。子どもたちはいずれ社会人になることを忘れてはならない。

中学二年生になると職場体験がある。日頃の活動の中で事業所をみつけて3人の自閉症の子を受け入れてもらった。できないことはあるが3日間一緒に過ごすことで3人がすごく成長した。もっと職場体験ができる場所を掘り起こしもっとサポートしてゆきたい。



坂野尚美さん

【名古屋大学国際交流推進センターの特任准教授】

現在、名古屋大学に勤務しながら海外からの留学生たちの学習障がいや発達障がいなどの心の問題と向きあっている。欧米からの留学生は自身のことをダイレクトに言ってくれるが、アジアの学生は抵抗があるのでそこまで話を聞き出すのに時間がかかったりする。現在名古屋大学には70ヶ国から1,600名ぐらいの留学生がいて、それほどの言語は話せないのによく解らない英語とよく解らない日本語を喋りながら、1日6名～8名のカウンセリングを日々で午前10時から午後6時まで、びっしりカウンセリングを行っている。

自身も特定疾患患者であり厚生労働省のピアカウンセリングを育てる委員のひとりになっている。国も障がいのある方がどんな気持ちで暮らしているのか理解していない。プログラムを作る時には個人のこうしてほしいという望みが通りやすいような形を組んでほしいと…。本当に個別な要求に応えられないものになってしまう。

最後に「生命には輝きがあって、ひとりひとり違う。その輝きは自分で失ってしまったりすると消えてしまう。だからその人自身もつ輝きを信じられ、それを支える社会的な環境があれば、従来もっていた輝きを深く輝き出せるような力になってゆくのではないかと思います。

## いろいろあっても、 後悔しないで、 前に進むのが 私らしさです

今回のゲストは、名古屋市昭和区内で知的障がい者支援をされている『NPO法人きらら』の理事長、濱盛加奈代さん。お話のタイトルは『いろいろあっても、後悔しないで、前に進むのが私らしさです』。

濱盛さんは高知県生まれ。高知県といえば、現在のNHK大河ドラマの主人公・坂本龍馬の故郷でもある。土佐の女性は、龍馬の姉・乙女さんに代表されるように明るくて芯の強い女性が多いイメージがある。濱盛さんもそういう感じの女性であった。

濱盛さんには、ふたつの顔がある。看護師としての顔、そしてNPO法人きららの理事長としての顔、この日は主にNPO法人きららの活動と、理事長としての苦労話を伺った。

濱盛さんが『きらら』を設立しようとしたのは、現在24歳になるダウン症の障がいをもつ娘さんが高校を卒業する時である。

障がい児をもつ親御さんが抱える問題は、その子のライフステージによって異なる。リハビリの問題、就学問題、思春期の問題、養

護学校卒業後の行き先の問題…。自分たち亡き後の生活の問題…。悩みは尽きない。健常者なら高校や大学を卒業すれば、自分の責任で生きてゆくことが可能になる。しかし、重度の肢体障がい、知的障がいをもっていると、就職や自立はなかなか難しい…。自立支援法が施行されて障がい者の雇用率が伸びたと言われているが、一般企業に就職できるのはほんの一握りの障がい者に過ぎない。障がい者が重度になればなるほど、学校卒業後の行き先がないのである。

そういう事情もあり、全国的にも障がい児をもつ親御さんたちが集まって地域活動支援事業所を立ち上げるケースが増えてきている。濱盛さんが理事長をされている『きらら』もそうであるが、『きらら』の場合は前身が「たんぽぽ」というダウン症の子どもさんをもつ親の会であった。つまり「たんぽぽ」に集っていた親子が、そのまま『きらら』へと移行したと言ってもよいのだ。そういう事情もあり、『きらら』では子どもたちの結束力も強いものがあるという。

はじめの内は「地域活動支援事業所(ディ・サービス)だけの活動だったのだが、現在は「ケアホーム」も運営されているそうだ。こんなふうを書くといかにも簡単そうに運営されているように思われるが、ディ施設にしてもケアホームにしても、障がい者の施設として貸してくれ、なにからなにまで

改装してもよい物件を探すのも一苦労なのである。その上消防法の問題で火災報知器や煙報知器や、いろいろな設備を整えなければならず、投資するお金も結構いるのだ。それで諦める親御さんもいるそうだが、濱盛さんは粘り強く物件探しをし、ようやく通路を挟んで向かい合わせの部屋を借り、地域活動支援事業所を始められた。ケアホームの火災報知器や煙報知器も消防署の指導によって各部屋につけようとしたら、500万の見積もりが出てきたのだという。それを濱盛さんは知恵を絞って安くあげたという。さすがは高知の女性である。

今後、全国で障がい者の生活介護も含めてケアホームを建設する親御さんも増えてくるだろう。『きらら』の濱盛さんには、その先達として大いに活躍してもらい、全国の障がい児をもつ親御さんに勇気と希望を与え続けていただきたいと思っている。

### ジネンカフェvol.037

日時：2010年3月6日(土)  
14:00~16:00

テーマ：いろいろあっても、後悔しないで、前に進むのが私らしさです

ゲスト：濱盛加奈代さん  
(NPO法人きらら理事長)

参加費：300円(カフェ代別途)

場所：くれよんBOX

主催・共催：NPO法人まちの縁側育くみ隊  
かたひらかたろう  
くれよんBOX

# ジネンカフェ vol.038



4月3日(土)

14:00~16:00

## アジアの貧しい人たちとともに

ICANは、正式名称を「アジア日本相互交流センター」といい、アジア(主にフィリピン)に住む人々とともに悩み、ともに夢を見て、その夢を達成するために活動しています。〈救う〉でも〈助ける〉のでもなければ、〈支援する〉のでもありません。ひとりひとりの〈できること〉を持ち寄り、子どもが貧困や紛争、差別などの暴力によって脅かされることのない平和な社会をめざしています。

ゲスト

**村上国広**

認定NPO法人ICAN

**堀尾直子**

認定NPO法人ICAN

**小森真琴**

認定NPO法人ICAN

大学時代にヨーロッパ、アジアを個人旅行し、たくさんの笑顔を出会う。日本に戻って途上国に貧困による問題があると知り、4年前からICANでボランティアをはじめ。

テレビでパヤタスの子どもたちを見て衝撃を受け、何かしたいと思った。仕事にもなれてきた1年前からICANでボランティアをはじめ。

数年前フェアトレードに出会い生産者も消費者も笑顔にする貿易の在り方に興味を持つ。ICAN主催のスタディツアーに参加。事務局でボランティアをはじめ。

参加費：300円 カフェ代別途

場所：くれよんBOX

地下鉄御器所駅8番出口  
(エレベーター)より徒歩5分。

〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3 11羽ね屋敷1階

Tel 052-733-5955

<http://www.crayonbox.jp/map.htm>

昭和区役所

8番出口

御器所駅

～お問い合わせ・申し込み先～

NPO法人 まちの縁側育くみ隊  
名古屋市東区代官町29-18

柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内

Tel/Fax 052-936-1717

E-mail [ookubo@engawa.ne.jp](mailto:ookubo@engawa.ne.jp)

主催・共催 NPO法人まちの縁側育くみ隊、かたひらかたろう、くれよんBOX

まちの縁側MOMOの「おいしい、たのしい、あったかい」ダンランの数々。  
ぜひ、ご参加ください。

**山田郁子さんの伴奏のもと、  
さあ歌いましょう！**



童謡からシャンソンまでおなかの  
底から声を出して歌いましょう  
日 時：4月13日(火)  
10:30～11:30  
参加費：500円(お茶代込)

**手作り楽しもう会**



MOMO風ランチョンマット!!  
日 時：4月2日(金)、9日(金)、  
16日(金)、23日(金)  
10:00～12:00  
参加費：700円(お茶代込)  
+材料費500円

**ダンボール工作**



4月はパチンコ台を作ります!  
日 時：4月15日(木)  
15:30～17:30  
講 師：図画工作むらた  
参加費：500円+材料費500円

**ごま食堂の月イチ食堂**

第2土曜日の夜は・・・



「旬の野菜・豆・雑穀を使った  
ビストロ料理」  
日 時：4月10日(土)  
18:00～22:00  
料 金：1,500円(別途ドリンク代)

**食楽だんらんもも屋**

第3土曜日の夜は・・・



日 時：4月17日(土)  
19:00～22:00  
参加費：1品(お酒or食べ物)持寄り  
※飛入り参加は1,000円  
※お酒は有料で用意して  
います

**お食事とお菓子MIL**

第4土曜日のランチは・・・



「野菜を中心とした  
月毎の薬膳ランチ」  
日 時：4月24日(土)  
11:00～16:00  
料 金：800円  
1日20食限定

**つどいの広場♪ハーモニー♪**

平成21年度なごやつどいの広場助成事業



0～3歳の子どもさんと親ごさんで参加していただけます  
日 時：月・水・木 10:30～12:30  
※11:30よりランチタイム  
※お弁当は持参も注文もOK(注文は1個500円)  
※祝日はお休みさせていただきます  
参加費：300円/1回(保険料含む)

**パソコンなんでもコーナー**



パソコン・インターネットに関する簡単な質問・相談コーナー!!  
日 時：毎週水曜日・金曜日  
14:00～17:00  
講 師：堀靖郎さん  
料 金：500円(お茶代込)

《はしもとみお

まちのかたすみ動物園》展  
MOMOが楽しい動物園になります。  
期 間：4月6日(火)～4月28日(金)

《もしもどうぶつになったら》

動物の絵描き屋はしもとみおさんが、あなたの顔を動物にたとえて似顔絵を描きます。

日 時：4月17日(土)  
9:00～(1人30分)

動物の絵：はしもとみおさん  
描き屋

似顔絵代：1,500円  
定 員：15名(要予約)

《動物の似顔絵コンクール》

自分を好きな動物にたとえて似顔絵を描いて送ってください。

入賞の方には素敵なプレゼントを！  
締 切：4月17日(土)

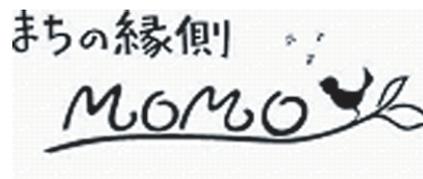
提出先：まちの縁側MOMO  
(応募用紙はMOMOにあります)

《ヘナのお話と

プチヘッドマッサージ》  
髪を染めるだけじゃない！知らなかったヘナの天然効果を教えます。

日 時：4月23日(金)  
13:30～15:00

講 師：望月霖さん  
参加費：700円(お茶付き)



**まちの縁側MOMO**  
愛知県名古屋市東区代官町29-18  
柴田ビル1階

**アクセス**  
名古屋地下鉄桜通線車道駅下車①番出口より徒歩10分  
名古屋地下鉄東山線新栄町駅下車②番出口より徒歩10分  
**問い合わせ先**  
担当：延藤節子  
TEL&FAX：052-936-1717  
E-Mail：momo@engawa.ne.jp

4 月

OPEN: 火～金 13:00～17:00  
OPEN: 土・日 イベント開催日

月	火	水	木	金	土	日
<p>はしもとみお まちのかたすみ動物展 4月6日(火)～4月28日(金) 期間中の土曜日は13:00～17:00オープン</p>			[10:30] つどいの広場♪ 1	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー 2	3	4
[10:30] つどいの広場♪ 5		[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 7	[10:30] つどいの広場♪ 8	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー 9	[18:00] ごま食堂 10	11
[10:30] つどいの広場♪ 12	[10:30] 山田郁子 さん伴奏のもとに さあ歌いましょう! 13	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 14	[10:30] つどいの広場♪ [15:30] ダンボール工作 15	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー 16	[9:00] 動物の似顔絵屋 さん [19:00] もも屋 17	18
[10:30] つどいの広場♪ 19	[13:00] 笑いのヨガ 20	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 21	[10:30] つどいの広場♪ 22	[10:00] 手作り楽しもう会 [13:30] ヘナの話 [14:00] パソコン コーナー 23	[11:00] MIL・Cafe「野菜 を中心とした月 毎の薬膳ランチ」 24	25
[10:30] つどいの広場♪ 「簡単つけもの」 26		[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 28	29	[14:00] パソコンコーナー 30		

# "縁側"に行きたくなる インフォメーションペーパー ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年4月号  
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊  
〒461-0002 名古屋市中区東区代官町29-18  
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内  
TEL&FAX：052-936-1717  
E-mail：info@engawa.ne.jp

まちの縁側MOMOの日常  
Daily life of MOMO 

平成22年度も楽しい企画をお届け  
します。

平成21年度の事業も無事終了  
し、MOMOのイベントに地域の  
みなさんをはじめ、たくさん  
の方々が参加してくださいました。  
本当にありがとうございました。

さて、平成22年度も楽しい企画  
をお届けします。今まで通りの定  
期講座に加え、新企画「Happy  
笑いのヨガクラブ」をお届けし

ます。2月に実施した企画「笑いと  
幸せを羊毛で紡ぐ～ティーコゼ  
づくり」の講師坂本智琴さんのヨ  
ガを取り入れたお話がとても好評  
だったので、リクエストにお答え  
する形で4月から定期講座として  
実施する運びとなりました。

**Happy笑いのヨガクラブ**  
日 時：4月20日(火)  
毎月第3火曜日  
13:00～14:30  
参加費：1,200円(お茶付き)

## 「笑いのヨガ」ってなあに？

笑いのヨガは、毎日の暮らしの中に笑いを取り入れる「笑いの実践法」です。  
「笑い」という人間に与えられたギフトを最大限に活用し、エクササイズを紹介しながら、  
笑いのヨガティーチャーやリーダーが説明しながら進めるため、どなたでもすぐに参加す  
ることができます。  
人生いきいき"笑んJOYライフ!"思いっきり笑うことで、心も身体もリフレッシュ！  
素敵な出会いが広がることを楽しみにしています。ぜひご参加ください。  
坂本智琴 (Dr. カタリア・スクール・オブ・ラフターヨガ認定ティーチャー)



## つどいの広場♪ハーモニー♪

平成22年度事業として、「つど  
いの広場♪ハーモニー♪」も、引  
き続き実施します。小さな子ども  
(0歳～3歳)を持つ親と子の居  
場所づくりとして、また、地域と  
顔をつなげる場として、ちょっと  
した心配事やいまさら聞きにくい  
子育て情報などを提供していま  
す。みんなで食べるランチも大好  
評です。

気軽にご参加ください。

### つどいの広場♪ハーモニー♪

日 時：毎週月・水・木(祝日お休み)  
10:30～12:30

参加費：300円  
※兄弟姉妹1人につき  
200円増  
※お弁当持参可、  
お弁当注文500円

## つどいの広場♪ハーモニー♪の様子



オープンの時間、スタッフは部  
屋の準備をして待ってます。  
子どもを遊ばせながら、ママた  
ちは、ちょっぴりほっとタイ  
ム。みんなで楽しくおしゃべり  
したり、情報交換しています。



おもちゃを片づけてランチタイ  
ム。お弁当はお持ちいただく  
か、注文も受け付けます(50  
0円実費、11時までにお申し  
込みください)。ヘルシーなお  
弁当です。  
みんなで食べるとおいしいヨ！